



弘中 孝 piano

久保陽子 violin

中村静香 violin

店村真積 viola

毛利伯郎 cello

桐五重奏団

結成50周年記念演奏会

PROGRAM

ドヴォルジャーク：ピアノ五重奏曲 イ長調 Op.81

Antonin Dvořák (1841-1904) Piano Quintet in A major Op.81

ブラームス：ピアノ五重奏曲 へ短調 Op.34

Johannes Brahms (1833-1897) Piano Quintet in f minor Op.34

2024年 **7月21日** [日]

14:00 開演 (13:30 開場)

東京文化会館 小ホール

全席自由 一般 5000円 / 学生 3000円

ご予約・お問合せ：オフィシャルシュ tel. 03-3565-6771

チケット取扱い：東京文化会館チケットサービス tel. 03-5685-0650

チケットぴあ <https://t.pia.jp> イープラス <https://eplus.jp>

50th
Anniversary

— 斎藤秀雄先生に呼び集められ —

1974年春、恩師、斎藤秀雄先生の勧めにより「桐五重奏団」を結成。同年秋の室内楽コンクールに出場し、特別賞として斎藤秀雄賞を受賞。以来、定期演奏会を重ねて、このジャンルの主要曲のほとんどを演奏。結成から50周年を迎える今年には斎藤先生の50周年忌でもあり、メンバー全員が特別な思いを持って演奏会に臨む。



弘中 孝 Takashi Hironaka ピアノ

6歳からピアノを始め、東貞一、井口愛子、井口基成の諸氏に師事。桐朋学園に学ぶ。1961年第30回日本音楽コンクール第1位、特賞ならびに安宅賞を受賞。その後ヴァン・クライバーン国際コンクール入賞。シフ国際コンクール第1位、ロン＝ティボー国際コンクール第4位入賞。1963年から1965年フルブライト給費留学生としてジュリアード音楽院に留学、S.ゴロニツキー教授に師事。1966年から1969年マルセイユ音楽院にてP.バルビゼ氏に師事。1969年より本格的な演奏活動に入り、国内外で活躍。オーケストラとの共演を始め、リサイタルや室内楽の分野でも、1974年結成した桐五重奏団を中心に充実した活動を展開。国際コンクールの審査員、音楽祭ディレクター等を務める。2013年3月まで東京音楽大学教授。ソロCDでは「ブラームス：ピアノ作品集」、「ブラームス：ヘンデルの主題による変奏曲とフーガ、シューマン：交響的練習曲」をリリース、各方面から高い評価を得る。

中村 静香 Shizuka Nakamura ヴァイオリン

桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部卒業。文化庁芸術家派遣在外研修員としてジュリアード音楽院に留学。第52回日本音楽コンクール第1位。及び増沢賞、レウカディア賞、黒柳賞受賞。第29回海外派遣コンクール特別表彰。第3回日本国際音楽コンクール入賞。鷺見三郎、海野義雄、小林健次、ドロシィ・ディレイの各氏に師事。これまでに、NHK交響楽団等、各オーケストラと共演し、各地の音楽祭にも出演している。ヴァイオリストとしては、2003年に大垣音楽祭でソロ・デビューを果し、その後はヴァイオリストとしての活躍の場も広がっている。「シュベルティアード」等のCDをリリース。現在、水戸室内管弦楽団、サイトウ・キネン・オーケストラのメンバー。東京音楽大学准教授、フェリス学院大学非常勤講師。日本音楽コンクール、全日本学生音楽コンクール等の審査員も務める。

毛利 伯郎 Hakuro Mori チェロ

10才よりチェロを始める。上原与四郎氏、桐朋学園で青木十良氏、ジュリアード音楽院でハーヴィー・シャピロ氏に師事。室内楽をロバート・マン、サミュエル・ローズ、フィーリックス・ガリアム諸氏に師事。ジュリアード在学中より、ニューヨークを中心として演奏活動を開始。名地のオーケストラと共演。ワシントンD.C.ケネディーセンターのシアター・チェンバー・プレイヤーズのメンバーとして、又、シークリフ・チェンバー・プレイヤーズ、カンティレナ・ピアノカルテットなど数多くのグループのメンバーとしてコンサート、レコーディングなど多彩な活動をするかたわらアメリカ、ヨーロッパ名地の音楽祭に数多く出演。その間、ニューヨーク、フィラデルフィア、インディアナの各地で後進の指導にも意欲的に当たる。1985年に帰国。読売日本交響楽団ソロチェリスト、桐朋音楽大学教授を歴任。現在、桐朋音楽大学特任教授、東京音楽大学特任教授。

久保 陽子 Yoko Kubo ヴァイオリン

3歳より父の手ほどきを受け、その後、折田泉、村山信吉、J.イスナールおよび斎藤秀雄らに師事。1962年桐朋女子高等学校音楽科卒業、同年チャイコフスキー国際コンクール第3位入賞。1963年よりフランス政府給費留学生としてパリに留学しR.ベネデッティ、J.カルヴェに師事。1966年マルセイユ音楽院ディプロマコースを卒業、名誉市民メダルを授与される。1964年バガニーニ国際コンクール、1965年ロン＝ティボー国際コンクールにて第2位。1967年からJ.シグティに師事。その後クルチ国際ヴァイオリン・コンクール第1位。ソリストとして演奏活動する他、弘中孝と共に桐五重奏団を主宰する他、久保陽子トリオ、ジャパン・ストリング・クワルテットなど室内楽奏者としても活躍。2011年3月まで東京音楽大学教授。CDでは「J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタとパルティータ全6曲」、「ブラームス：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ全3曲」、「ベートーヴェン：ピアノ・トリオ第7番大公、ブラームス：ピアノ・トリオ第1番」、「バガニーニ：カプリース全24曲」をリリース、いずれも高評を得ている。

店村 真積 Mazumi Tanamura ヴィオラ

京都に生まれる。6歳よりヴァイオリンを始め、東儀祐二、鷺見三郎、江藤俊哉の諸氏に師事。全日本学生コンクール、日本音楽コンクールなど受賞歴を重ね、桐朋学園大学を経て、イタリアに渡り、P.ファルツィ氏に師事。その後、指揮者R.ムーティ氏に認められ、フィレンツェ市立劇場の首席ヴィオラ奏者となる。1977年ジュネーブ国際音楽コンクールヴィオラ部門第2位入賞。ヨーロッパ各地でソリスト及び室内楽奏者としても活躍。帰国後もソリストとして多くのオーケストラと共演。サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団メンバーであると同時に、ヴィオラの祭典「ヴィオラ・スペース」への出演を始め日本を代表するヴィオラ奏者として、室内楽やソロの分野でも幅広い活躍を展開、CDも数多くリリースしている。読売日本交響楽団ソロ首席ヴィオラ奏者、NHK交響楽団ソロ首席ヴィオラ奏者、東京音楽大学教授を歴任。現在、東京都交響楽団特任首席ヴィオラ奏者。京都市交響楽団ソロ首席ヴィオラ奏者。東京音楽大学客員教授。

2024年7月21日 [日] 13:30 開場 / 14:00 開演

東京文化会館 小ホール 台東区上野公園5-45 JR上野駅公僕口前

全席自由 一般 5000円 / 学生 3000円 (小学生～大学生、25歳迄)

●ご予約・お問合せ

オフィスアルシュ tel.03-3565-6771 www.officearches.com

●チケット取扱い

東京文化会館チケットサービス tel.03-5685-0650

チケットぴあ <https://t.pia.jp> Pコード 264459

イープラス <https://eplus.jp>

